

あぶらぎのぞうきん



大和合金・三芳合金工業
社長萩野茂雄さん

「(製造の)プロセスが長いので、ムダが眠っている。合理化の山だ」と語るのは、大和合金・三芳合金工業社長

の萩野茂雄さんだ。

特殊銅合金の製造を手がける当社は、この業界では珍しく、溶解から鍛造、機械加工にいたるまで一貫製造を行っている。

あるとき、外部から生産管理の指導を受けると、合理化の「ぶ」の字もないと言われたぞうきん。うちは、ずいずいぶのぞうきんを絞るよ、「し」と萩野さんは屈託なく話す。

製造工程での合理化が図られると、顧客からの短納期や

小ロット生産や素材開発の要望にも応じられるようになった。

「零細だが、開発フィールドがあるのはありがたい」と語る萩野さん。顧客からのさらなる高い要望にも対応できるように、合理化と開発の手を緩める気配はない。